

■米国：EIA 想定米国は 2026 年までにエネルギー輸出国に

2017 年 1 月 5 日に公表された EIA（米国エネルギー情報局）のレポート「Annual Energy Outlook 2017」によると、米国は、天然ガス輸出の増加と石油製品輸入の減少により、今後 10 年間で純エネルギー輸出国になる。2015 年後半には、米国政府は数十年続いた原油輸出禁止を撤廃し、米国本土 48 州からの天然ガス輸出は 2016 年に始まった。米国は 1953 年以来純エネルギー輸入国であったが、過去 1 年間に始まったエネルギー輸入の減少と輸出の増加により、その傾向は 2026 年に変わる可能性がある。同報告書によると、総エネルギー消費量は、基準ケースでは 2016 年から 2040 年にかけて 5%増加し、2016 年から 2040 年までの原油と天然ガス生産の増加を背景に、総エネルギー生産量は基準ケースで 20%以上増加すると EIA は想定している。